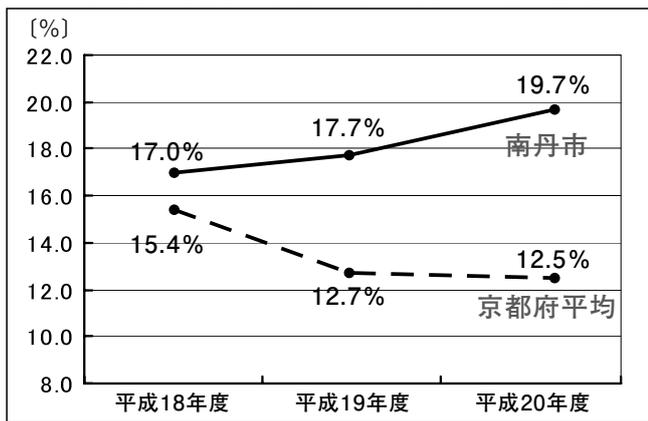


実質公債費比率(3カ年平均)の推移(表)



Q ②⑧ 実質公債費比率19.7% (左表参照) は京都府内14市のうち悪い方から2番目ということだが、この厳しい財政状況は今年度以降も続くのか。健全財政に立て直す方法はないのか。指標の数値目標は立てているのか。(摩気小学校)

A ②⑧ 旧町の起債償還がピークを迎えているので、今が一番厳しい状況であり徐々に良くなってきますが、交付税の見直しにより今後の推移については不明確となっています。健全財政のためには借金を減ら

すことが大事であり、無駄の見直しや外部評価を取り入れることで低コスト・高効率の行政運営を目指します。また、職員数の定員適正化や人件費削減も引き続き行います。目標数値については、今後、年度計画と見込みをお示しする予定です。

※実質公債費比率とは…市全会計の経常的な収入(公債費(借金返済額)に充てなければならぬものを除く)のうち、一部事務組合を含めた公債費(地方交付税で補てんされるものを除く)に充てられる比率のこと

Q ②⑨ 市長が「厳しい、厳しい」といっているのは市民税の値上げを要求しようとしているのか。(日吉市民センター)

A ②⑨ 税の値上げは考えていません。まずは歳出面で見直すべきところから見直していきます。今後も市職員数の適正化など市民サービスの低下にならないよう、さまざまなお意見を拝聴しながら歳出削減に努めるとともに、歳入をいかに増やしていくか市民の皆さんと共に考えていきたいと思えます。

Q ③⑩ 美山や日吉から本庁まで行くのは大変である。支所を存続させてほしい。(胡麻基幹集落センター)

A ③⑩ 合併協議で支所はおおむね10年は存続させると決定していますが、10年後にどうするかということが課題になってきます。住民サービスを低下させないよう効率的組織運営と職員資質向上に努め、本庁と支所との連携強化に取り組みます。

Q ③⑪ 公共施設が指定管理で外部委託されるように聞く。せめて、南丹市の施設は、南丹市の住民で管理できないのか。(日吉市民センター)

A ③⑪ 合併後、市が保有している施設の管理については、直営か委託か選択してきました。公民館など地域に根ざしたものは、地元で管理いただくのが基本で、できるだけ効率的・効果的な団体に指定管理をお願いしたいと考えています。市には多くの施設・土地がありますが、使われないものは売却して厳しい財政状況に対応していきます。

アンケートのご意見(抜粋)

- ・会場数が少なすぎる。
- ・夏は遅い時間帯、冬は早い目の開催が望ましい。
- ・世代別に開催しては。
- ・各団体から意見を聞くシステムに変更していただきたい。
- ・年度当初に市政方針を聞かせてほしい。
- ・昨年度は市からの報告が長かったが、今年度は懇談時間が長くよかった。
- ・財政難を理由にしすぎている。
- ・せっかく担当部長が出席しているので直接答えられた方がよい。
- ・もう少し具体性のある内容の回答を。
- ・住民の参加が少ない。
- ・ほかの市民の意見を聞くことができたので有意義であった。
- ・堅苦しい感じだったので、街角懇話会などを考えてはどうか。

お聞かせいただいたご意見、ご提案は十分に検討し、今後の市政運営の参考にさせていただきます。なお、市役所行政資料コーナーおよび南丹市ホームページでも公開しています。

【問い合わせ先】

情報推進課

TEL 0771-68-0019